



いいじま文彦(自民党)

- 1.ジュニアスポーツの育成推進を
- 2.福祉的避難所と福祉避難所について

- 問** 多摩市立学校の児童・生徒の体力の状況はどうか。
- 答** 調査8種目の体力合計点において、男女ともに小学校で都の平均を下回る学年が多い傾向にあり、中学校では都の平均を上回る学年が多い傾向が続いている。
- 問** 部活動の地域移行は、学校や地域と一緒に当市のジュニアスポーツ等の在り方を考える良い機会ではないか。
- 答** 今後立ち上げる協議会等の場で学校と地域と一緒に、部活動の在り方等を見つめ直す。生徒がスポーツ等に継続して親しめる機会の創出が大切と考える。
- 問** 災害時に福祉避難所や福祉的避難所が機能するよう、具体的に踏み込んだ対策が必要ではないか。
- 答** 現在、健康福祉部や一部地域の自主防災組織において、避難行動要支援者の一人ひとりの個別避難計画の策定を進めている。それが進むことで、避難先として福祉避難所や福祉的避難所を指定し、福祉避難所への直接避難ができる体制の構築が可能になると考える。施設側等と連携を密にし、必要な対策を講じたい。



きりき優(自民党)

- 1.クマなどの野生鳥獣被害対策
- 2.認知症施策と介護保険制度
- 3.ヴェルディJ1 復帰とスポーツ施策

- 問** クマなどの野生鳥獣対策はどう整備されているか。
- 答** 今年多摩市内でシカが確認されたが、クマの目撃情報はない。多摩市には鳥獣被害防止計画はなく、東京都の大型獣類等が市街地に出没した際の対応マニュアルに基づいて、都や警視庁と連携し対応する。
- 問** 認知症の人は一般に損害賠償責任を負わないことになっている。もし認知症の人が事故やトラブルを引き起こした場合、誰がその損害を賠償することになるのか。
- 答** 本人や家族等が認知症を理由に損害賠償を免責されたとき、誰も損害を賠償しなくなるケースも考えられる。認知症共生社会実現に向けて対応を研究したい。
- 問** 多摩市をホームタウンにする東京ヴェルディが16年ぶりにJ1 復帰を決めた。多摩市内にスタジアムを設置するなど更なる連携強化を検討してはいかがか。
- 答** スタジアム設置は厳しいが夢のある提案として受け止めたい。J1 昇格を果たした東京ヴェルディとは、ホームタウンの都市として更なる連携強化を図っていく。



6年後の建て替えに向けて～

多摩市役所本庁舎建替基本計画特別委員会中間報告～

特別委員会スタート、閉会中も活発に！

令和11(2029)年度までの市役所本庁舎の建替えをめざして、議会としても調査・研究を行い、計画策定に積極的にかかわる必要があることから、令和5年10月3日、8名の委員をもって構成する「多摩市役所本庁舎建替基本計画特別委員会」を設置し、閉会中も含め12月18日までに4回の特別委員会を開催しました。

議会機能について調査検討開始

議会エリア(機能)に関して、市側から骨子案作成前に議会として取りまとめてほしい旨の依頼を受け、令和6年1月末までに基本計画の下地となるものを作成することを目標とし、事前に各会派から提出された基本構想に沿った項目ごとの意見だしを委員会で整理することからスタートしました。会議スペースはどの程度を想定しているのか、スペースの算定方法は、議会図書室と行政資料室の一体化についてなど、市側へ質疑や確認・意見交換をしながら進め、委員会終了後には調査や勉強会、委員間でも意見交換を行いエリアごとに整理しました。

並行して庁舎全体の計画についても議論

議会機能に加えて基本計画全体の検討状況について報告を受けた際には、駅近機能の具体的な内容についての検討状況、防災拠点としての本庁舎機能について、デジタルデバインド対応について、市民が集いやすい市役所とは、職員が働きやすい環境について、環境対策をコストだけで判断しないでほしい、若者からのヒアリングの実施の意義について、本庁舎へ来庁する際のアクセスの記述がないことについてなど、多くの質疑や意見が出されました。

多摩地域の先進地視察を行い、議会機能のまとめ、さらには全体骨子案やその後の基本計画素案に向けて委員会としても引き続き活発に議論してまいります。



清瀬市役所庁舎の視察の様子